

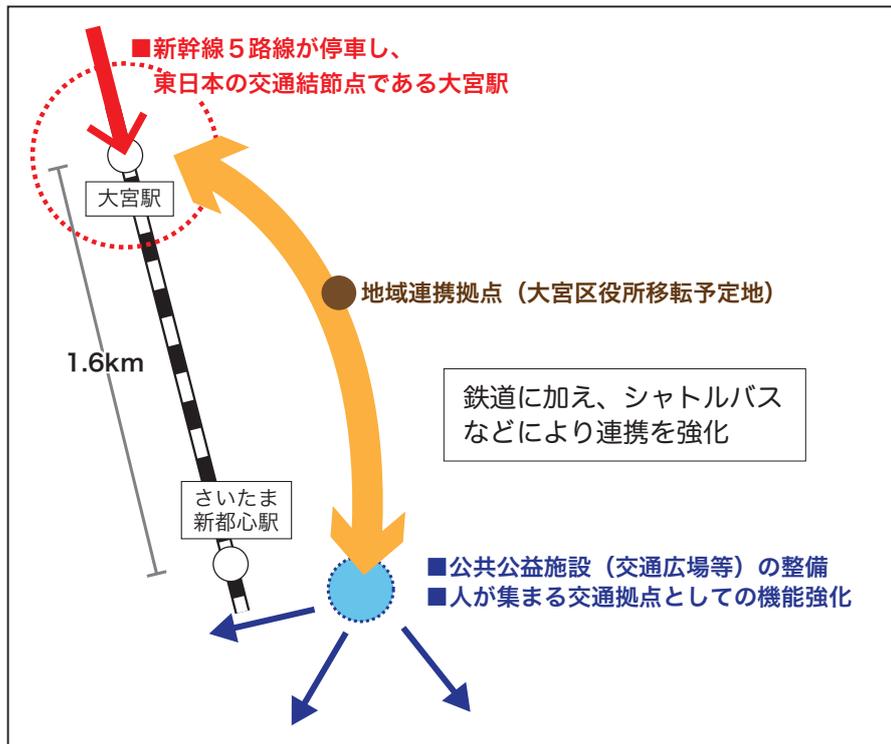
先 導 プ ロ ジ ェ ク ト

施策の取組の中から、まちづくりとして行政が積極的に取り組むべき「先導プロジェクト」を示します。

先導プロジェクト1（目標1）

公共公益施設（交通広場等）整備の検討	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○大宮駅周辺の自動車交通のターミナル機能が飽和状態にある中で、長距離バス・観光バスなどの停留スペースがなく、乗客は路上での乗降を余儀なくされています。 ○一方、隣接するさいたま新都心にも長距離バス・観光バス向けのバスターミナルがなく、広域交通拠点としての機能性が高いとは言えない状況です。
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○来街者の利便性の向上を図り、交通拠点性を高めるため、長距離バス・観光バスなどの発着拠点となる交通広場の整備を検討します。 ○交通広場は多目的広場との複合施設として、一体整備を検討します。 ○多目的広場はにぎわいと憩いの空間となるように街区公園とつながるよう計画します。
関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ○新幹線5路線の結節点である大宮駅との連携を強化し、相互利便性を高めるため、シャトルバスなどの導入を検討します。

交通拠点性向上のイメージ

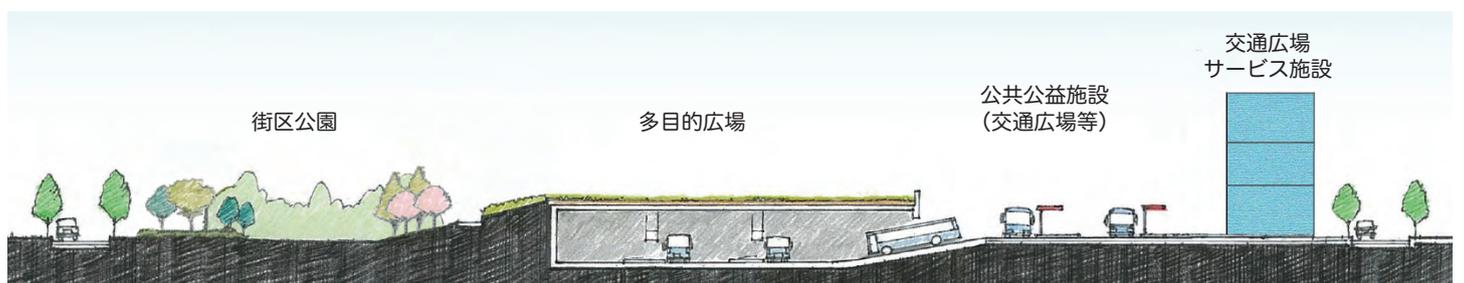


交通広場に発着する長距離バス・観光バスのイメージ
(写真はさいたま新都心駅発着の高速バス)



シャトルバスのイメージ
(写真はさいたま市コミュニティバス)

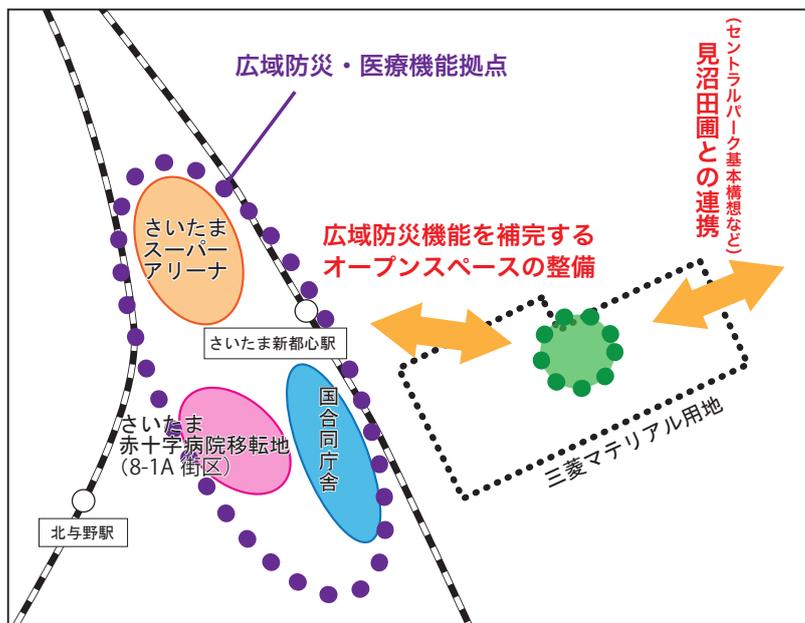
公共公益施設（交通広場等）の整備イメージ



先導プロジェクト2 (目標2)

防災機能を持った公園整備の検討	
現状	<p>○さいたま新都心駅西側には、国の14機関が入居する合同庁舎があり、また、東日本大震災時に多くの避難者を受け入れたさいたまスーパーアリーナもあります。さらに今後、さいたま赤十字病院や県立小児医療センターの移転も予定されており、広域防災・医療機能拠点としての役割を果たすこととなります。</p> <p>○さいたま新都心周辺地区は、商業・業務機能の集積が進む一方で、オープンスペースは不足している状況にあります。</p>
施策の概要	<p>○大規模な土地利用転換にあわせ、さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するようなオープンスペース（防災機能を持った都市公園）の整備を、みどり豊かな空間を有する見沼田圃内のセントラルパーク基本構想などとの連携を見据え、検討します。</p>

オープンスペースの整備検討位置



防災機能を持った都市公園のイメージ

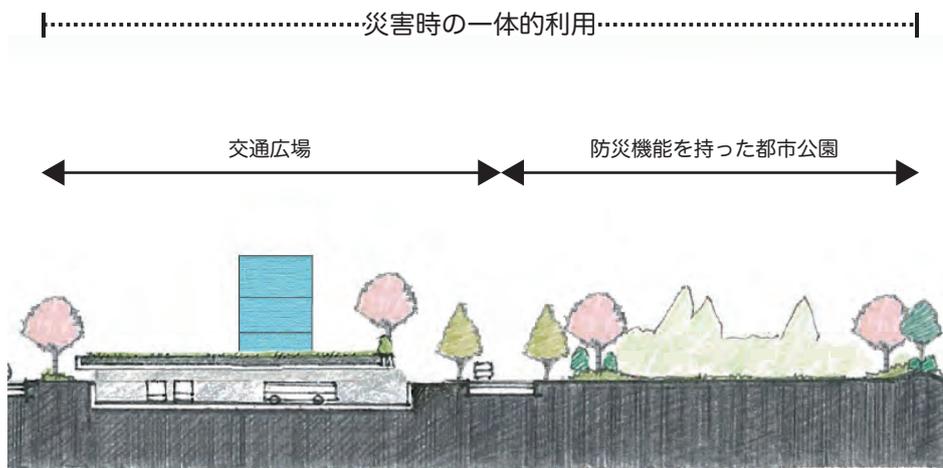


(参考：東京都大田区東糀谷防災公園)

【防災機能を持った都市公園に整備する機能】

- 防災備蓄倉庫
 - 耐震性地下貯水槽
 - 広場
 - 非常用電源・通信・照明設備
- など

オープンスペースの整備イメージ



オープンスペースの事例
(東京都北区：西ヶ原みんなの公園)

先導プロジェクト3（目標3）

公園整備を中心としたみどりの回廊形成の検討	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○さいたま新都心駅周辺には一団となったみどりが少なく、歩いて行ける範囲に身近な公園が不足しています。 ○大宮公園、見沼田圃などみどり資源があるものの、街路樹の間隔が空いているなど、みどりの連続性が不足しています。
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○中山道沿道のみどりを充実し、氷川参道とのみどりの連続性を創出します。 ○街路樹の高さや植え込みの高さ等、緑化空間の重層性や演出を工夫することにより、みどりの連続性を高めます。 ○防災機能を持った都市公園整備（先導プロジェクト2）にあわせて、大宮公園、見沼田圃、氷川参道などとの、みどりの連続性を生み出します。

みどりのネットワークイメージ

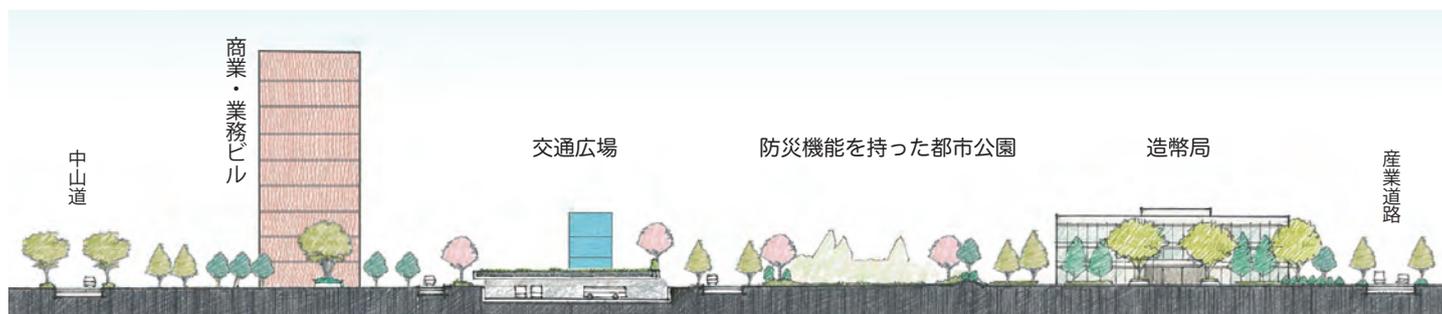


氷川参道



中山道

みどりの空間の整備イメージ



【さいたま新都心将来ビジョン】 発行：平成26年3月

さいたま市 都市局 都心整備部 計画管理課

TEL: 048-829-1577 FAX: 048-829-1937 E-mail: keikakukanri@city.saitama.lg.jp

「さいたま新都心将来ビジョン」の本編については、下記のホームページで閲覧できます。

<http://www.city.saitama.jp/005/003/006/p021516.html>

